

令和 2 年度 静岡市発達障害者支援センター「きらり」活動方針

静岡市発達障害者支援センター「きらり」は令和 2 年度において、平成 31 年度に引き続き静岡市発達障害者支援センター運営事業と発達障害者家族支援・支援体制サポート強化事業について、各関係機関とも連携を図りながらすすめていく。

1 静岡市発達障害者支援センター運営事業

(1) 個別支援の実人数および延べ件数（平成 31 年度）

支援の内容	実人数	延べ件数
相談支援 (日常生活の様々な相談を受け、助言、各種機関紹介、情報提供を行う)	711	800
発達支援 (個々に応じた療育や教育の具体的な手立てについて支援を行う)	912	1807
就労支援 (就労を希望する方、就労している方に関係機関と協力して支援を行う)	71	325

(2) 静岡市かかりつけ医等発達障害対応力向上研修

本研修会は発達障害の早期発見・早期支援の重要性に鑑み、発達障害児者等が日頃より受診する診療所の主治医等の医療従事者等に対して、発達障害に関する国の研修内容を踏まえた研修を実施し、どの地域においても一定水準の発達障害への対応を可能とすることを目的に実施されるものである。

参加対象者は医師、看護師、保健師、心理士、園・福祉関係支援者等としている。令和 2 年度においては 2 回開催を予定している。開催形式については、Zoom、YouTube 等を活用する準備をしている。

令和 2 年度予定表

第 1 回 10 月 WEB 開催 「発達障害の併存症とその治療」 愛知県医療療育総合センター中央病院 子どものこころ科 児童精神科医師（予定）
第 2 回 12 月以降 WEB 開催 「発達が気になる幼児の親面接」 鳥取大学 教授（予定）

(3) 発達障害を考える会（静岡）

ライフステージに応じた支援をめざし精神科と小児科で情報共有をはかり共通理解をもって発達障害の支援に当たるため、合同研修会を平成 28 年度から引き続き実施する。

共催者である発達障害を考える会（静岡）、医療法人社団明光会あおいクリニック、特定非営利活動法人静岡市障害者協会と協同し企画運営をしている。令和 2 年度は WEB 開催等で実施予定。

(4) 清水発達障害児勉強会

幼児期地域支援のフレーム作りとして、清水医師会と連携して「幼児期支援者の勉強会（子どもの発達支援と家族支援）」を平成 28 年度から引き続き実施する。令和 2 年度は WEB 開催等で実施予定。

(5) 親講座

静岡済生会療育センター令和と共催して実施している、保護者向けの研修会である。研修は子どものライフステージや特性に合わせた内容を学べるよう企画している。令和 2 年度は WEB 開催等（WEB セミナーおよびビデオ講座）で実施予定。

令和 2 年度予定表

ビデオ講座① 子どもを伸ばす魔法の言葉かけ 静岡済生会総合病院 療育小児科 医師
ビデオ講座② 言葉・遊びの伸ばし方 静岡済生会総合病院 療育小児科 医師
ビデオ講座③ 気になる子の「できる」を増やすポジティブ支援－特性理解と支援－ 静岡済生会総合病院 療育小児科 医師
ビデオ講座④ 気になる子の「できる」を増やすポジティブ支援－応用行動分析・ABC 支援－ 静岡済生会総合病院 療育小児科 医師
ビデオ講座⑤ 気になる子の「できる」を増やすポジティブ支援－場面別支援－ 静岡済生会総合病院 療育小児科 医師
ビデオ講座⑥ 0～5 歳児 発達が気になる子のコミュニケーション力育て－5 つの力からアプローチ－ 三育学院大学看護学部 准教授（依頼中）
WEB セミナー IT 機器やアプリを用いた学習支援 「しずおかの特別支援教育を広げる会」代表（依頼中）

(6) ハッピー子育てプロジェクト～ママ集まれ!～ (ストレスマネジメント講座)

平成 22 年度より NPO 法人えじそんくらぶ代表に講師を依頼し、3 回シリーズの保護者向けストレスマネジメント講座を実施している。今年度は新型コロナウイルス感染症対策として対面形式での講座は中止とし、その代替講座として 2 つの保護者向け WEB 研修会を予定し準備をしている。

ひとつは講義形式のストレスマネジメント講座で、参加者は WEB 配信される研修を聴講する。内容は、育児ストレスの発散方法やこどもの良いところを見つけ伸ばす方法を学ぶことを目的としたもので、保護者対象だが支援者も聴講可能とする予定である。もうひとつは、従来実施しているハッピー子育てプロジェクトのように、保護者同士やペアレントメンターが意見交換等双方向的なやりとりをまじえながらストレスマネジメントを学ぶ小規模の研修である。いずれも 10 月頃の開催を予定している。

2 発達障害者家族支援・支援体制サポート強化事業

(1) ペアレントメンター・地域サポーター養成研修

静岡市では平成 22 年度から同じような発達に凸凹がある子供を持つ親に対して、共感的なサポートを行い、地域資源についての情報を提供することを目的に、ペアレントメンターを養成している。あわせて専門機関等の職員にも研修を受けていただき地域サポーターとして、発達障害児者への理解と支援を専門的に学び地域での支援の底上げをはかっている。

◆令和 2 年度ペアレントメンター・地域サポーター養成研修予定表
感染症予防のため、全 6 回のうち 5 回は WEB 開催を予定。

事前研修 7月31日(金) 10時～11時 「Zoom 使い方研修会」 講師：静岡市ことばと心を育む会「にこっと静岡」代表 (ペアレントメンター)
第 1 回 8月29日(土) 10時～11時 「発達障害総論」 日本ペアレントメンター研究会副理事長・愛知県医療療育総合センター中央病院 子どものこころ科 児童精神科医師
第 2 回 9月～10月に開催予定(調整中) 「家族支援ガイドライン」 「ペアレントメンター・地域サポーター活動の実際」 静岡市発達障害者支援センター副主任支援員 NPO 法人「それいゆ」副理事長 ペアレントメンター・地域サポーター(予定)
第 3 回 9月～10月に開催予定(調整中) 「面接の実際～傾聴と共感～」※ロールプレイが主な内容のため、対面開催を実施予定 静岡市発達障害者支援センター副主任支援員 NPO 法人「それいゆ」副理事長 ペアレントメンター・地域サポーター(予定)
第 4 回 11月に開催予定(調整中) 「家族支援のためのストレスマネジメント講座①」 NPO 法人えじそんくらぶ代表
第 5 回 11月に開催予定(調整中) 「家族支援のためのストレスマネジメント講座②」 NPO 法人えじそんくらぶ代表
第 6 回 12月に開催予定(調整中) 「家族支援のためのストレスマネジメント講座③」 NPO 法人えじそんくらぶ代表

平成 31 年度のペアレントメンター研修修了者は 16 名。(うち 1 名は過去にも受講し修了)。平成 22 年度からの通算は実人数計 79 名となった。

地域サポーター研修を修了したのは 29 名。地域サポーターは平成 26 年度から修了証書を発行しており、通算は 113 名。

◆ ペアレントメンター・地域サポーター研修 アドバンス講座

昨年度末(2月)に開催予定であったが新型コロナウイルス感染予防のため延期となっており、今年度改めて開催することとした。

11月28日(土)14時~16時 「発達障害当事者への支援・家族支援について」 静岡市成人発達障害セルフヘルプグループ「プリズムステーション」代表

(2) ペアレントメンター派遣予定について

◆ ペアレントメンター派遣予定表 (延べ40回以上を予定)

派遣先	内容
親子支援講座	発達に凸凹のある未就園児とその親へのフォローとして開かれる会にスタッフ(進行・相談役)として参加。
親講座	静岡済生会療育センター令和と共催している親講座で、話題提供者として参加
おしゃべり会	ペアレントメンターが中心となり、発達に凸凹のある子を持つ保護者同士のつながりや共感を通じて、支援を行う。
ペアレントメンター個別相談	ペアレントメンターが発達障害または発達凸凹を持つ子の保護者からの相談に対し、同じ親としての立場で傾聴・共感・必要に応じて情報提供等を行う。
公立こども園等の保護者研修	発達障害または発達凸凹がある子を持つ保護者対象の研修会で話題提供者として参加
ストレスマネジメント講座	発達の凸凹がある幼児を持つ保護者向け講座でファシリテーターとして参加
その他	静岡市発達障害者支援センターに依頼のあった派遣について、センター職員とともにペアレントメンターを派遣する

(3) ペアレント・プログラム

ペアレント・プログラムは、子育てに難しさを感じている保護者が、子どもの「行動」の客観的な理解の仕方を学び、楽しく子育てにのぞむ自信を身につけることを目的としている。

◆ グループ・プログラム (2クール) 予定表

第1回	ガイダンス・現状把握表を書いてみよう
第2回	行動で考えよう
第3回	行動のカテゴリーを見つけよう
第4回	ギリギリセーフ！みつけよう
第5回	ギリギリセーフ！をきわめよう
第6回	ペアプロで見つけたことを確認しよう

(4) 支援体制サポート強化事業

発達障害のある人の乳幼児期から成人期までの各ライフステージに対応する一貫した支援を行うためのネットワーク及び体制の整備において、発達障害者支援センターを中心とした全市レベルでの支援だけでなく、地域レベル・家族レベルにおける支援が重要と考え、支援機関での支援体制や家族支援体制の強化が効果的である。

このため、巡回支援専門員（支援センター支援員）による巡回相談等により、発達障害や気になる子への支援技術の強化と共有を目的として事業をすすめている。

令和2年度の訪問予定

* () 内は平成31年度の数。令和2年度より増加した数字は太字と下線で標記。

訪問先	か所数	各訪問回数	合計訪問回数
公立こども園	9か園 (9か園) (ブロック研修を兼ねる)	各4回 (各4回)	36回 (36回)
私立幼稚園・こども園	4か園 (4か園)	各4回 (各4回)	16回 (12回)
私立保育園・こども園	8か園 (6か園)	各4回 (各4回)	32回 (23回)
小規模保育園	5か園 (4か園)	各4回 (各4回)	20回 (16回)
公立小学校	10校 (6校)	各4回 (各4回)	40回 (22回)
公立中学校	5校 (2校)	各4回 (各4回)	20回 (8回)
公立高等学校	3校 (1校)	各4回 (各4回)	12回 (3回)